



東北大学

平成 25 年 5 月 9 日

報道機関 各位

東北大学大学院農学研究科

被災地がめざす高度衛生管理・高鮮度管理型魚市場をハード面・ソフト面から支援開始

<概要>

東北大学大学院農学研究科水産資源化学分野および電磁波高度利用研究室は、文部科学省東北マリンサイエンス拠点形成事業(新たな産業の創成につながる技術開発)「電磁波を水産物加工に用いた新規食品製造技術の開発」研究プロジェクトの成果を公開するとともに、これまで研究室で開発した「鮮度チェッカー」、「ヒスタミンチェッカー」による鮮度や危害物質ヒスタミン測定の実習指導、機器貸与を行い、被災地の魚市場がめざす「高度衛生管理・高鮮度管理型魚市場」をソフト面・ハード面から支援します。はじめに、5月10日、11日に気仙沼市魚市場で講演と実習を行い、その後、県内(希望があれば県外魚市場)でも同様な支援を行う予定です。なお、本事業には公益社団法人日本水産学会災害復興支援拠点の支援も頂いております。

具体的な支援事業は下記のとおりです。・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 「高度衛生管理型魚市場にふさわしい品質管理法」の講演
2. 「鮮度チェッカー」・「ヒスタミンチェッカー」の実習指導
3. 「鮮度チェッカー」・「ヒスタミンチェッカー」の貸与(期限付き)

(お問い合わせ先)

東北大学大学院農学研究科

担当：(佐藤 實、山口 敏康、中野 俊樹)

電話番号：022-717-8896, 8737, 8738